

あかし

〒962-0402

福島県須賀川市仁井田

字北明石田30

仁井田中学校

同窓会長 吉村 博

☎ (0248) 78-2030

印刷所：(有) 和田 印刷

コロナ禍における学校生活について

新型コロナウイルスの収束が見通せない状況の中で、今年度も昨年、一昨年に引き続き、感染予防対策を実施しながらの学校生活となりました。

今年の中学3年生は胸を躍らせて中学校の門をくぐった入学式直後に、1ヶ月あまりの臨時休業を経験した生徒たちです。学校再開後も学習活動の制限や給食時の黙食、部活動においては大会の中止や縮小など、様々な面で制限を受けながらの生活となりました。

様々な制限と我慢を強いられた学校生活でしたが、悪いことばかりでもなかったと思います。それは生徒たちも我々大人も、考える習慣・力がついたと思うからです。この状況の中で、「何ができるか」、「どのようにできるか」、「どうすればできるか」など、生徒も教員も、ともに知恵を絞り、意見を出し合いながら学校行事などができる範囲内で実施し、達成感を味わってきました。

将来、未知のウイルスが感染拡大することもあるかもしれません。その際には、今回の経験は必ず役に立つと考えています。

新型コロナウイルスの令和5年5月の5類への移行も発表されましたが、まだまだ予断を許さない状況です。

今後、地域や保護者の方々、また同窓会の皆様のご理解とご協力を得ながら、子どもたちの夢の実現に向けて、生徒と教師が一体となって取り組んでいきたいと思っています。

会報誌『あかし』について



同窓会長
吉村 博

新春を迎え、皆様にはご健勝の事と心よりお慶び申し上げます。今年もコロナウイルス感染症第八波の中、新型オミクロン株という感染力の強いコロナウイルス感染症対策に、注意しておりますが、三密回避の基本を忠実に守り、コロナウイルス感染症に注意しましょう。

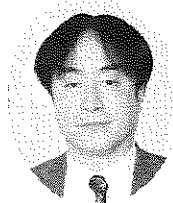
さて、少子高齢化に伴い会員数の減少が見受けられるなか、会報誌『あかし』を、現在約一〇〇〇通発送しておりますが、そのうち約二〇通が返却されてきており、今後も返却数が増加するのではないかと危惧されます。その件で、役員会を開催し、内容を精査しますと、皆様に協賛していただいた、その協賛金の殆どが、印刷代と郵送料になっており、有効利用がされて無く、大変申し訳無いと感じ、改善策として現在のITを活用できないか検討を重ね、今後は仁井田中学校のホームページにて、生徒、校長先生、公民館長、館ヶ岡、仁井田、大谷地、関下、滑川、十貫内、向陽町、季の郷、宮ノ杜、各地区の皆様からの意見、提案、活動報告を掲載する形で継続していくことといたしました。

また、同窓会、同級会案内等、会報誌あかしを通じて皆様からのご意見や提案、近況なども掲載しますので、ホームページの閲覧をお願いします。今まで、会報誌の出筆や会報誌の発送にお手伝い頂いた生徒、先生をはじめ、多くの皆様に御礼申し上げます。ありがとうございます。

なお、あかし会員への誹謗中傷は厳禁です。個人の情報もありますので、他には利用しないでください。パソコンなどがない場合は、電話、FAX等で連絡を頂きますと、いままでも通り、郵送いたします。このような状況の中、いつも協賛金にご協力頂き、御礼申し上げます。今後は郵送料、印刷代などの必要が有りますので、協賛金のご協力を辞退させて頂きませんが、あかし会会員皆様の憩い、情報発信の場としてたくさんご活用してください。以上のように、来年度からホームページ掲載に変更となりますので宜しくお願いいたします。

最後になりますが、コロナウイルス感染症への、注意、収束と、皆様のご繁栄、ご多幸、ご健勝を願ひまして挨拶と致します。

子どもたちが生きる未来を 見据えて



校長
中潟 宏昭

「Society 5.0」「人生一〇〇歳時代」「オープンイノベーション」「SDGs」という言葉がここ数年の教育界に浸透してきている言葉です。

先日、二十歳の集いに参加した女性アイドルもこれらの言葉を用い「変化を恐れず挑戦したい」とコメントしていました。「保守」と「革新」という二局対立の言葉が世界の構図として象徴されてきた昭和から、三十年あまりという短い時間の流れの中で、世の中がどの方向に向かっていくのか、その結果はどうなるのか、答えが見いだせない時代になっているような気がします。ただ、明らかなことは、子どもたちが生きる一〇〇年には、私たちが経験しなかったような物や考え方、価値観が生まれ、それに順応した生き方が求められるという事です。教育活動の指針となる学習指導要領は、未来の子どもたちが生きる時代を見据え、幼、小中、高校、大学時代に身に付けるべき学力（学ぶ力）を明らかにしています。本校が研究に取り組んでいる「協同的な学び」による探求型の学習は、他と協同し、支え合いながら学びを深める力の育成を目指し、まさに学習指導要領が目指す、子どもたちが未来に順応しよりよい人生を創り上げるための力の育成を目指しています。

同窓会の皆様には、今後とも学校の教育活動にご理解いただき、子どもたちの未来に、変わらぬご支援をお願い申し上げます。